

アジアの婚礼文化紹介

デザイナーの桂由美さんと静岡商工会議所連合会の松浦康男会長、特定非営利活動法人（NPO法人）地域活性化支援センター（静岡市葵区）の志垣恭平理事長が二十六日、静岡市内で会見し、二〇〇九年四月十、十一の両日にアジア八カ国のブライダル関係者が集う「第十二回アジアブライダルサミット」を駿河区のグランシップで開催すると発表した。

第12回ブライダルサミット

桂さんが会長を務める「アジア文化交流プロジェクト」の中核事業。アシアブライダル協会連「結婚」を通して少子化対策センターが共催する。策への啓発も進める。

サミットは、静岡空港 プロジェクトの実行委（島田市、牧之原市）の〇 員会は県商工会議所連合会、県交流拡大による地域活性化 会、県商工会連合会、中小企業団体中央会などで構成。会長は松浦氏が



開催に向けて協力を誓う（左から）桂さん、松浦会長、志垣理事長＝静岡市葵区で

09年4月に静岡で桂由美さんら企画

一九九五年に東京で初開催、〇二年には大阪でも

務める。

ブライダルサミットは

開かれ、国内開催は三回目となる。日本、中国、韓国、インドネシア、フィリピン、タイ、インド、マレーシアの八カ国が参加、各国の伝統婚礼文化と儀式を紹介するほか、伝統文化の継承と婚礼文化の変遷をテーマに、シンポジウムやファッションショーも計画されている。

東海道新幹線に乗るときは、いつも富士山が見える席に座るといふ桂さんは「静岡らしいイベントにしたい。『富士山のふもとで』をキーワードに参加を呼び掛けた」と話し、松浦会長も「静岡空港と地域活性化、少子化対策を結び付ける企画。一過性のイベントではなく、将来につなげた」と期待を寄せる。